

CSR 2014

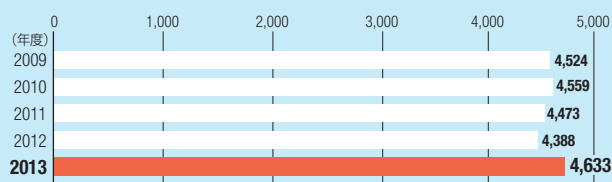


会社概要 2014年3月現在

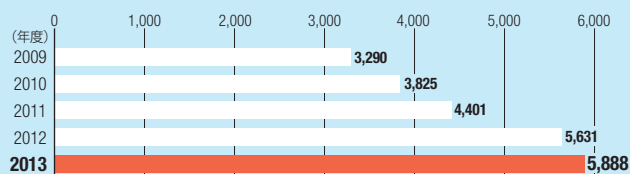
会社名	伊藤ハム株式会社
設立	1948年(昭和23年)
創業	1928年(昭和3年)
本社事務所	兵庫県西宮市高畑町4番27号
代表者	代表取締役社長 堀尾 守
資本金	284億2,700万円
売上高	4,633億9,500万円(連結)
連結対象会社	連結子会社 30社 持分法適用関連会社 8社
従業員数	1,802人(連結:5,103人)
主な事業	●食肉加工品の製造および販売 ●食肉の加工および販売 ●調理加工食品、惣菜類の製造および販売など

業績(連結) 2014年3月現在

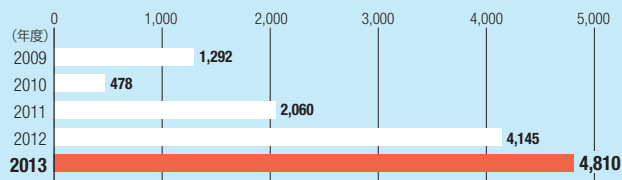
売上高の推移 (億円)



経常利益の推移 (百万円)



当期純利益の推移 (百万円)



編集方針

伊藤ハムでは2000年から「環境報告書」を発行し、今年で15回目の発行となります。2005年からは社会的側面の記述を充実させて「社会・環境報告書」として発行し、2008年から「企業の社会的責任」(Corporate Social Responsibility)に対する弊社の取り組みを皆様にご報告する内容に改めて、タイトルを「CSR報告書」としました。

本報告書は、ステークホルダーの皆様当社グループのCSR活動をわかりやすくお伝えすることを目的としており、2013年度のCSR活動の中でも特に重要性の高い事項を中心に編集しています。今回特集ページを設けるなど、よりいっそう、わかりやすく、親しみやすい報告書となるよう心がけました。

また、本報告書はホームページのみで開示しており、冊子の発行はしておりません。

■伊藤ハムホームページ:

<http://www.itoham.co.jp>

対象範囲など

◇報告対象組織

基本的には伊藤ハムグループの取り組みを報告していますが、一部の報告では伊藤ハム株式会社、もしくは弊社およびグループの生産工場に限定している場合もあります。

◇報告対象分野

伊藤ハムグループが取り組みを行う社会的活動および環境保全活動

◇対象期間

基本的には2013年度(2013年4月1日から2014年3月31日)の取り組みを報告していますが、一部では2013年度以前、以降についても報告しています。

◇参考にしたガイドライン

環境省「環境報告ガイドライン(2012年度版)」

GRI「サステナビリティリポーティングガイドライン2006」

※「環境保全活動」の事業所写真は、原則として伊藤ハム(株)のものを掲載しています。関連会社の事業所を掲載した場合は、注釈に当該社名および事業所名を記載しました。



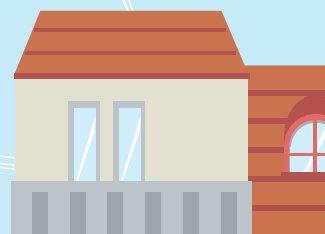
グランドアルト
バイエルン



ポークビッツ



朝のフレッシュ
コースハム



INDEX

会社概要／編集方針／対象範囲など	1
トップコミットメント	3
グループ方針	5

特集1 伊藤ハムのバリューチェーン

事業全体を通して、品質、工程を管理し、安全・安心の商品を社会に提供しています 7

特集2 西宮工場見学

毎日のお客様の安全・安心のために品質管理と環境に配慮しています 9



お客様とともに 11

PICK UP 次世代のファンづくり
品川女子学院・中部の
皆さんと共同開発 11

お客様とのコミュニケーション 11

安全・安心への取り組み 13



株主・投資家様とともに 14

企業情報開示・IR活動 14

開かれた株主総会を目指して 14

PICK UP 株主優待制度 14



社会貢献活動 15

「食と健康」 15

PICK UP 子どもたちの「食」への
興味を高めるさまざまな
食育イベントを実施 15

地域社会貢献活動 16

ユニセフ支援活動 16

自然環境保護活動 16

ボランティア支援活動 16



従業員とともに 17

PICK UP ワーク・ライフ・バランス 17

教育制度の充実 18

労働安全衛生 18

健康管理 19

ダイバーシティの尊重 19



ガバナンス 20

企業倫理規範（コンプライアンスの原則） 20

組織体制 20

コンプライアンス 21

PICK UP 職場に根づいた
コンプライアンス活動を推進 21

公正な取引 21

リスクマネジメント 21

情報セキュリティ 21



環境保全活動 22

環境負荷の全体像 22

環境目標 23

環境マネジメント 24

従業員教育・地域とのコミュニケーション 25

環境負荷低減の取り組み

生産事業所 25

事務所・営業所・物流センター 26

PICK UP 環境活動に関する外部表彰 26



伝承ギフト



kiriチーズ入り
チキンナゲット



ベルガヴルスト



トップコミットメント

「食」を担う企業として 社会から信頼され続けるために

はじめに

伊藤ハムグループは、創業以来「事業を通じて社会に奉仕する」との社是を掲げ、皆様の健康にとって大切な動物性タンパク質である食肉や食肉加工品をお届けし、食生活の向上に貢献してまいりました。価値ある商品・サービスの提供を通して、「食のこと」の喜びや楽しさを伝えていくことがグループの使命であると認識し、「食」を担う企業として皆様からいただいている信頼を盤石とするための活動を積極的に推進してまいります。

また、「アジアの中で最も信頼される食肉加工メーカーになる」ことを経営ビジョンと定め、伊藤ハムグループ中期経営計画(CNV2015)の達成に向け構造改革と成長戦略に全力で取り組んでまいります。特に、「コンプライアンス体制のさらなる充実」と「人材の育成」については中期経営方針の重要事項の筆頭に掲げ、経営品質を高めるとともに、地球環境への配慮、社会貢献活動や食育活動などの分野においても、積極的に活動しております。

2013年10月には、創業の地である神戸市との間で包括連携協定を締結致しました。「自然環境保全」、「食育」、「防災」、「地域活性化」など幅広い分野で協力を進めてまいります。

コンプライアンスを推進する体制

伊藤ハムグループでは第三者を含む諮問機関である「CSR委員会」と、「コンプライアンス責任者会議」を頂点とする

推進体制に加えて、「コンプライアンス委員制度」や「リーガルリスクマネジメントシステム」の運用などを通じ、社内各階層に対してさまざまな施策・取り組みを実施、コンプライアンス意識の高揚と体制の強化を継続的に図っております。

「コンプライアンス委員制度」は、明日を担う若手従業員の中からコンプライアンス委員を任命し、担当職域を定め職場に根付いた活動を推進するものです。本制度は2009年に発足し、その後委員の数を大幅に拡大しました。現在の委員数はグループ全体で300名規模となり、職場のコンプライアンスチェックはもとより、コンプライアンス風土の醸成に取り組んでいます。

これらの取り組みを支える中核としてCSR本部があり、各部門・グループ各社と連携して制度の運営・施策の実行を進めております。従業員教育を通して伊藤ハムグループ全体のコンプライアンスマインドの浸透と徹底を図るため、毎年全従業員を対象とした教育プログラムを実施し、その効果をモニターすることもCSR本部の役割です。また、食品会社として最も重要なことは、おいしい製品を安心してお召し上がりいただくことで、品質管理徹底の重要性は言うまでもありません。各生産現場・流通段階における管理、検査、点検の徹底にグループを挙げて取り組む中、CSR本部が主体となる監査、点検も継続的かつ網羅的に行っています。

社会と共生する「社会貢献活動」「食育推進活動」

伊藤ハムグループは、事業活動を通じての社会との共生



工場の製造現場



コンプライアンス委員活動



食育活動

が大切と考え、社会貢献活動を推進しています。全国の事業所周辺の清掃活動には、毎年約2,000人以上の従業員が参加するほか、「こうべ森の学校」や「高尾の森づくりの会」の活動への参加を通じて間伐・植樹作業を実施するなど、自然環境保護活動も継続して実施しております。

また、「食育活動」は食品企業だからこそできる社会貢献活動の一つであり、伊藤ハムグループのCSR活動の重要な一環として考えております。「伝えていきたい食べるよろこび」をメインメッセージとしてさまざまな食育活動に取り組んでおります。“食とeco”わくわく探検隊ではエコロジッククッキングを取り上げ、親子で参加をいただきました。また、ピザ・シチューパイの手作り教室を工場見学とともに実施したほか、ウインナーの飾り切り教室を全国で開催し、お弁当をもっと楽しくするお手伝いをさせていただきました。伊藤ハムブランドに込めたわれわれの想いを知っていただき、「食」への理解を深めていただく一助になると確信し、今後も継続して活動を行ってまいります。

環境負荷を低減するために

継続的な環境保全と自然との調和・共生、地球環境に配慮した事業活動を行うことは、伊藤ハムグループが企業の社会的責任を果たす基本姿勢と位置づけております。省エネルギー・省資源の推進、廃棄物の削減とリサイクルの推進、温室効果ガスの排出量削減など、さまざまな環境負荷低減活動に積極的に取り組むとともに、全生産施設を対象として、中期環境目標を定め、達成に向け日々努力を重ねております。

2013年度も高効率タイプの冷凍機への更新など施設に関わる取り組み、およびLED照明への切り替え、空調機を高効率タイプに更新するなど設備面での取り組みを行いました。9月に竣工した取手工場ではこうした取り組みを更にレベルアップさせるべく、環境負荷に配慮した設計

を導入しております。今後も目標達成に向けて、さまざまな環境負荷低減活動に積極的に取り組んでまいります。

人材力を強化するために

従業員は会社の大切な財産です。人材の育成と働きやすい環境づくりは、企業の持続的発展を志向していく上での要として重要であります。教育制度の充実は言うまでもなく、安全衛生、健康管理、ワーク・ライフ・バランス、ダイバーシティの推進などにも重点を置いた独自の取り組みを進めております。

社会から信頼され続けるために

伊藤ハムグループが真に社会から信頼され続けるために、多方面にわたるさまざまな課題にチャレンジし、全力で邁進いたします。

これらの活動につきましては、今後ともこの「CSR報告書」にて幅広く情報開示を行ってまいります。伊藤ハムグループの活動内容とその結果に対するステークホルダーの皆様のご理解と、忌憚のないご意見・ご鞭撻を賜れば幸甚に存じます。

2014年9月

代表取締役社長

堀尾 守



こうべ森の学校



グループ方針

社 是 事業を通じて社会に奉仕する

経営方針

企業理念

伊藤ハムグループは長期的な企業価値の向上を目指し、活力ある魅力的な企業、また、社会に貢献できる企業へ全社を挙げて取り組むことを基本方針としています。

- 1 使 命 (ミッション)** 伊藤ハムグループは価値ある商品・サービスを提供することで、健全な生活の基盤となる「食べる」ことの喜びや楽しさ、大切さを伝えてまいります。
- 2 経営姿勢**
 - コンプライアンス(企業倫理の遵守)を徹底し、透明性の高い経営を行うことで、社会から信頼される企業を目指してまいります。
 - お客様に「安全」で「安心」な商品をお届けいたします。
 - 環境にやさしい企業活動を推進いたします。
 - 社員は会社の大切な財産です。能力主義・成果主義を重視し、何事にもチャレンジする活力ある職場を目指します。
- 3 行動規範**
 - あらゆる法令や会社の規則を遵守し、社会良識に沿って行動します。
 - 議論は自由闊達^{かつたつ}、且つ徹底的に行い、決めた事はすぐに実行し最後までやり遂げます。
 - 慣習にとらわれず、常に新しい発想で、自主的に行動します。
 - 「強く 正しく 逞しく^{たくま}」の伝統精神のもと、自己責任原則を徹底します。

経営ビジョン

アジアの中で最も信頼される食肉加工メーカーになる

伊藤ハムグループは、企業規模や利益の追求だけを目的とせず、日本をはじめとしたアジア全体で、最も安全で安心な商品を提供している企業であるという信頼を得ることを目指します。

中期経営方針

- 1 コンプライアンス体制の更なる充実**
 - 引き続き体制の充実を図る。
 - 業務執行に対する監督機能の一層の強化。
 - 社外取締役の導入。
 - 社会貢献活動にも引き続き注力。
- 2 人材の育成**
 - ジョブローテーション／チャレンジ制度の構築。
 - 生産技術センターを設立し製造技術の伝承とレベルアップを図る。
- 3 営業力、生産力をはじめとする現場力の強化**
 - 価値を生み出す現場の力の充実・強化。
- 4 お客様目線での商品開発を伴うマーケティング力強化**
 - 新しい価値創造。
 - 商品開発／マーケティング部門への人材投入。
 - 業務用商品の開発力・マーケティング力強化。
- 5 コスト競争力の強化**
 - 経営資源をより効率的、効果的に使える強い筋肉質の企業体質へ。

伊藤ハムのCSR



社会の一員であるという認識を強く持ち、あらゆる法令や社会的規範、社会的良識に基づいて企業活動を行い、企業としての社会的責任を果たすべく、ガバナンス体制を強化していきます。



お客様に「安全」で「安心」な商品をお届けし、健全な生活の基盤となる食べることへの喜びや楽しさ、大切さをお伝えし、お客様に満足していただけるようなさまざまな取り組みを行います。



株主・投資家の皆様に株主還元を実施するとともに、さまざまな機会やホームページ、メディアを通じて、適時、適切な経営情報を開示し、良好な関係構築を図ります。



良き企業市民として、地球環境への配慮と社会との共生を大切に、社会貢献活動を継続的に推進します。



環境関連法を遵守するとともに、地域環境の保全と社会の共生に努めます。省エネルギー、省資源、及び廃棄物の排出削減を図り、リサイクルを推進するなど、環境保全活動によって、循環型社会の形成と地球環境負荷低減に貢献します。



従業員は会社の大切な財産です。その人格や個性を尊重しつつ、自己実現が達成できる仕組みづくりに努め、何事にもチャレンジする活力ある職場、安全で安心して働ける職場環境の実現を目指します。



事業全体を通して、品質、工程を管理し、安全・安心の商品を社会に提供しています

商品の企画から、お客様に商品をお召し上がりいただくまで、それぞれの工程で、「おいしさ」「安全・安心」にこだわった品質管理を行うことによって、付加価値の高い商品・サービスをお届けしています。

1

企画する

おいしさ与健康

- お客様のニーズを市場調査
- 調査結果を基に商品を開発
- 品質の良い製品を生産する方法を確立
- お客様に商品特長が伝わる商品説明文の作成



企画する

安全においしく食べられるよう、生産から販売そして調理・食事までを想定し、企画を行います。

品質管理部門

それぞれの工程で、安全でおいしい商品を作るため、工程管理やさまざまな検査を行い品質を管理しています。



調達する

国内および世界各国から安全・安心な原材料が届けられます。

作る

品質管理のマネジメントシステムでおいしさと安全な品質を追求

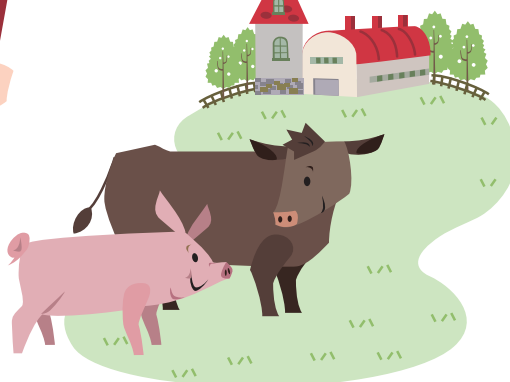


2

調達する

安全・安心

- 調達先の選定・監査
- 原材料の安全性の確認



6

食べる

お客様とのコミュニケーション

- お客様相談室
- 投稿レシピをWebで紹介
- SNS (Facebook、GREE)
- ウィナーの飾り切り教室
- 手作りウィナー教室



食べる

お客様との会話の機会を大切に、より良い商品づくりを目指します。



品質保証部門

法令やお客様目線で作られた運用規則が守られるよう、事業内容をチェックし、改善を支援しています。



販売する

法令を遵守し、重要な情報を分かりやすく表示しています。



5

販売する

ホームページ等で商品情報を開示

ご家庭用の主な商品について

- 原材料名
- アレルギー物質
- 栄養成分
- トレーサビリティ

運ぶ

商品の保管庫やトラック内部など配送のあらゆる段階で品質に配慮しています。



運ぶ

適正管理

保管庫やトラックについて

- 商品特性に合わせた温度管理や衛生管理の徹底



作る

こだわりの品質

商品特性に合わせて実施

- HACCPやISO22000を基にした衛生管理
- JASを基にした品質管理
- 商品や工場の微生物検査
- 商品のアレルギー物質、添加物、栄養成分の検査等



毎日のお客様の安全・安心のために 品質管理と環境に配慮しています

—あたり前のことをあたり前にきちんと守る—

このことを、原材料の受入から出荷にいたる全工程で徹底することで、
安全・安心かつ環境に配慮した商品づくりを実現しています。

▼ グランドアルトバイエルンの製造工程



Q

お肉はどんな風に
届けられるの？



A

西宮工場には毎日、
約95t※のお肉が
冷凍された状態で、
入ってくるんだよ。



※グランドアルトバイエルン以外に使われる肉も含まれます。

Q

どうやって
おいしくしているの？



A

塩などの調味料をお肉に加えて、
72時間以上寝かせることで、
肉本来の旨みを
引き出しているんだよ。



Q

原料を詰めるのは
機械でしているの？



A

羊の腸を1本ずつ丁寧に
機械にセットしているよ。
羊の腸は1本約10メートル
もあるんだよ。



原材料受入・原料処理

厳選した豚肉原料が多くのチェック
を経てソーセージの原材料に！



塩せき・熟成

ひき肉にした原材料を熟成、
肉本来の旨みがアップ！



味付け・充填

熟成した原材料肉に調味料、香辛料を
加えて練り、羊の腸に詰める

品質管理
HACCP



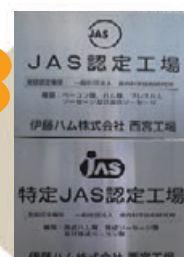
HACCPは、食品の生産工程における危害の
要因を分析し、重要な管理ポイントを定め、工
程の中で連続的に監視するシステムです。西
宮工場ではこのシステムを運用して、全製品
の安全を確保しています。

環境管理
ISO14001認証



環境マネジメントシステムISO14001の仕組
みを回しながら、省エネルギー、省資源、廃棄
物の排出量削減など、環境負荷を低減する
取り組みを継続的に進め、地球にやさしく環境
に配慮した工場として運営しています。

JAS認定・
特定JAS認定工場



西宮工場は、製造施設、品質管理、製品検査、
生産工程等の体制が十分であると認定され
た、JAS認定工場です。また、「熟成」に関する
規格である特定JASの認定も受け高品質の
製品を生産しています。

西宮工場は1960年11月に開設され、今なお稼働している歴史のある工場です。基幹工場として、創業当時から培った技術をしっかり継承するとともに、HACCP、ISO14001などの認証を取得し、品質へのこだわりと環境に配慮したもののづくりに取り組んでいます。



西宮工場

Q いいにおいがしてきたね。



A くん煙で、香りや風味が増すだけでなく、製品の保存性も高めてくれるんだよ。



Q 1日にどれくらいの製品ができるの？



A 西宮工場では、1日あたりソーセージ類約30万パック※、ハム類約23万パックをつくっているよ。



※ブランドアルトバイエルン以外のソーセージ製品も含まれます。

Q 完成だね!!



A まだだよ。安全な製品が完成したことを確認するのも、とても大切な作業なんだ。



くん煙・加熱・冷却

国産山桜のチップで燻した後、加熱し、すぐに冷却



包装

クリーンルームの自動化ラインでカット、パック詰め



検品・箱詰め

製品の温度確認とともに、各種の装置で異常がないことを確認

社会貢献活動、地区住民とのコミュニケーション



地域社会との共生を目指して、工場周辺の清掃活動を行っています。また「手作りワインナー教室」といった食育イベントの開催などを通じて、地域住民とふれあう機会を大切にしています。

食べれば、答えはそこに。

GRAND
アルトバイエルン



肉本来の旨みに加えて コク・深みのあらびきへ

ドイツバイエルン州岩塩使用（塩分中50%）

良質な原料肉を伝承の製法で72時間以上熟成し、肉本来の旨みを引き出しました。コクをさらに深くするために、香辛料の種類や配合にも工夫しています。ブランドアルトバイエルンならではのコクと深みある余韻をお楽しみください。

加工食品事業本部

生産本部 西宮工場 工場長 平嶋 裕一





お客様とともに

お客様に「安全」で「安心」な商品をお届けします。

健全な生活の基盤となる食べることへの喜びや楽しさ・大切さをお伝えし、お客様に満足していただけるような、さまざまな取り組みを行っています。

PICK UP

次世代のファンづくり 品川女子学院・中等部の皆さんと共同開発

伊藤ハムでは、社会貢献の一環として、品川女子学院様が実施している総合学習授業「28project」の理念に賛同し、2013年4月から同学院中等部生徒231名と初の共同商品開発に取り組みました。

商品開発テーマを「自分たちが女子高生になった時にお弁当のおかずとして食べたいもの」として、商品コンセプトから商品パッケージまで商品開発に携わるプロセスを全8回にわたり、当社若手マーケ

ティング担当者などが講師となり、授業で体験してもらい商品開発を行っていただきました。6クラスの各クラス代表商品を同学院文化祭「白ばら祭」で、来場者に人気投票していただいた結果も踏まえ、3品を2014年春の新商品として期間限定で発売いたしました。



『アイデアシートを作ろう!』



『デザインシートを作ろう!』



『文化祭(白ばら祭)』

お客様とのコミュニケーション

お客様相談室へのお問い合わせに対して、 誠意ある対応を迅速に行っています

伊藤ハムグループお客様相談室では、フリーダイヤル、ホームページ、お手紙などを通じて、お客様からお問い合わせ・ご意見をいただいています。2013年度には、主として「食べ方・調理方法」、「保存方法」、「キャンペーン内容」に

ついて、総数約12,100件のお問い合わせ・ご意見をいただきました。

特にお問い合わせについては、電話で内容を詳しく伺い、誠意ある対応を迅速に行うことを心がけています。また、ご指摘いただいた内容は関係部署と情報を共有し、問題点の抽出・改善に努めています。

「もっとおいしくコミュニティ」を通じて お客様により喜んでいただける商品づくり

「もっとおいしくコミュニティ」は、伊藤ハムが企画・運営するモニター組織です。「お客様の視点からの自由な発想によるご意見」によって弊社商品をより良いものにすることを目的として、2004年11月からスタートしました。登録メンバーは、30代～50代前半のご自身が調理を行う主婦層が中心です。登録メンバーの皆様からのご紹介によって、少しずつメンバー数を拡大しており、2014年6月現在、502名の方が登録されています(現在新規の募集はございません)。

メンバーの皆様にはグループインタビューやアンケート調査に参加いただき、商品に対するご意見や生活意識について伺うことで、弊社商品の開発や改良、マーケティング施策のヒントにさせていただいています。2013年度には、「旨包ハンバーグ」の味覚およびパッケージに対するご意見を伺い、パッケージの改良や新商品企画の参考とした事例をはじめ、合計7回のグループインタビューを開催しました。併せて、Web上で年4回アンケートを実施しました。

お客様とダイレクトにコミュニケーションできるという意味でも「もっとおいしくコミュニティ」は大切な役割を担っており、継続的な運用によってお客様との絆を深めていきたいと考えています。

「もっとおいしくコミュニティ」モニターの声

- ・何気なく食べたり購入している商品の開発や改良のプロセスを少し覗くことができて楽しい時間でした。
- ・自分の意見を言わせていただいていたのですが少しでもお役に立っていると思いますと嬉しく、良い体験でした。

お客様の共感を育むコミュニケーションを展開し、 ブランド価値を向上～ソーシャルネットワーキング サービス(SNS)の活用～

伊藤ハムは、ギフト商品を中心にお客様から広くご支持いただいておりますが、食肉加工品の価格競争が激化するなど、市場環境は年々厳しさを増しています。お客様に店頭で第一に想起していただくためには、伊藤ハムという企業をより身近に感じていただき、共感を生むコミュニケーションを図る必要があります。

そこで、より多くのお客様に伊藤ハムのファンになっていただき、ブランド価値の向上を図る目的で、2011年からFacebookとGREEに公式サイトを開設しました。哀愁漂う面持ちがかわいいSNSキャラクター「ハム係長」を通じて、お客様と親密なコミュニケーションを図り、現在は両サイトであわせて約12万人のファンに共感いただいています。

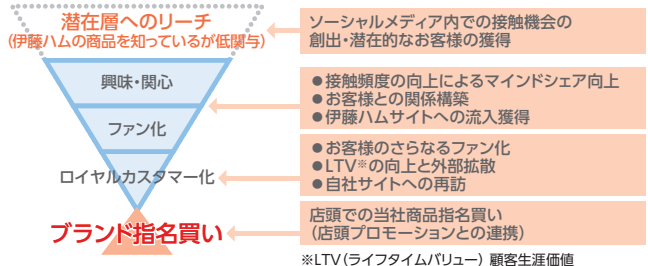
両サイトともに、今後も新商品やキャンペーンなどの企業情報に加えて、時節にあったレシピの紹介やハム係長のキャラクター特性を生かしたコメントも交えるなど、お客様一人ひとりの心に寄り添う真摯な対応と温かいコミュニケーションを心がけていきます。



〈ソーシャルメディア展開の概要〉



〈ソーシャルメディアマーケティング施策の目的〉



※LTV(ライフタイムバリュー) 顧客生涯価値

社員の声 SNS担当者

お客様一人ひとりにとっての 身近な存在を目指しています

サイト開設以来、常にお客様の心に寄り添うコミュニケーションを心がけてきました。おかげさまで、ハム係長との会話をきっかけに、伊藤ハムを指名買いしてくださるようになったお客様も、たくさんいらっしゃいます。

今後も、お客様にとっての身近な存在として楽しいやり取りに努め、企業・商品ブランドの向上につなげていきたいと思っています。

管理本部 広報・IR部
IR・Web広報室
永島 小百合



安全・安心への取り組み

中国やタイといった海外にも 安全な商品を提供しています

「アジアの中で最も信頼される食肉加工メーカーになる」というグループの経営ビジョンのもと、中国、タイで事業を展開しています。

中国では、食肉および加工食品に対する需要が急速に拡大する中、安全・安心な商品の安定供給が大きな課題となっています。このような課題に対応するべく、当社、三菱商事(株)、米久(株)の3社は、投資会社MIY(株)による出資を通じて、中国最大の食料関連国有企業である中粮集团有限公司(COFCO)が展開する、豚・鶏等の家畜生産と食肉処理・加工・販売、ならびに食肉輸入事業に参画しています。

タイにおいては、当社、タイ ベタグロ社、タイ味の素社が2009年、合併会社(イトウハム・ベタグロ・フーズ社)を設立し、食肉加工品を製造するとともに、日本やタイ、その周辺国への販売・輸出事業を展開しています。

今後も、ハム・ソーセージを中心として、中国・タイ両国の消費者が求める高品質の商品の提供に努め、アジアにおける食文化のさらなる発展に貢献していきます。



中国のスーパーの店頭および中国で販売されている商品



タイのスーパーの店頭およびタイで販売されている商品

「安全・安全システム」によって、 国産牛の履歴を適正に開示

伊藤ハムグループは、国産牛の履歴を一貫してデータベースで管理するシステムを導入しています。推奨銘柄牛である「薩摩錦牛」「秋田錦牛」をはじめとする国産牛については、その出生から食肉に至るまでの履歴を検索できる「安全・安心システム(トレーサビリティシステム)」を導入し、運用しています。このシステムでは、国内にある当社グループの食肉加工センターで加工された国産牛について、個体識別番号やロット番号からお客様が履歴を検索することができます。*

「安全・安心システム(トレーサビリティシステム)」について

<http://www.itoham.co.jp/farm/anzen/tracea/index.html>

* 推奨銘柄牛以外の国産牛肉については、家畜改良センターのホームページから履歴情報の検索が可能です。

<https://www.id.nlbc.go.jp/top.html>

ISO22000の運用により、食品安全を推進

ISO22000を運用することで、食品安全に取り組んでいます。ISO22000は、品質管理の国際規格であるISO9001をベースとして、工程管理にHACCP(総合衛生管理製造過程)を取り入れた食品安全に特化した国際規格です。

伊藤ハムグループでは、2005年12月にグループ会社であるサンキョーミート(株)有明ミート工場が、食肉業界で初となるISO22000を認証取得したのに続き、2008年までに食肉事業本部の全生産事業所が認証取得を完了しました。

さらに、ハム・ソーセージの生産工場では、グループ会社である筑紫ファクトリー(株)北九州工場が2009年にISO22000の認証を取得しました。



ISO22000適合証明証



株主・投資家様とともに

株主・投資家の皆様に株主還元を実施するとともに、
長期的な企業価値の向上を目指し、経営情報を開示します。

企業情報開示・IR活動

ホームページによる情報開示

ホームページで、適時適正な情報開示に努めています。



「伊藤ハム」ホームページ
<http://www.itoham.co.jp>
「株主・投資家の皆様へ」ホームページ
<http://www.itoham.co.jp/corporate/ir/syaze.html>

株主様向け報告書の発行

株主様向けの報告書を年に2回発行し、財務情報などをタイムリーにお伝えしています。

決算説明会

決算および第2四半期決算発表後、アナリスト・機関投資家様などを対象に決算説明会を開催しています。説明会資料については、ホームページにも掲載しています。

開かれた株主総会を目指して

近年、企業を取り巻く社会情勢がめまぐるしく変化している中、株主総会は経営方針を決定する場としてその重要性が高まっています。

伊藤ハムでは最高意思決定機関である株主総会を、株主の皆様と、直接意見を交換できる貴重な場と位置づけ、開かれた株主総会を目指しています。その一環として、招集ご通知の役員選任候補者の顔写真の掲載、「見やすく読み間違えにくい」ユニバーサルデザインフォントの採用といった取り組みを実施しています。

また、株主総会においては、事業報告と計算書類などの

報告では、ナレーションと映像を用いてご説明し、株主の皆様にも、よりご理解していただけるよう努めています。

なお、2014年6月26日(木)午前10時より第74回定時株主総会を神戸ポートピアホテル(神戸市)にて開催し、全決議事項が承認可決されました。出席者数は954名(前年は793名)、所要時間は1時間37分(前年は1時間26分)でした。

質疑応答においては、「社外取締役の複数制度」、「女性の活用」、「CNV2015の経営ビジョン」など、のべ16名の株主様から27項目にわたるご質問と貴重なご意見をいただきました。

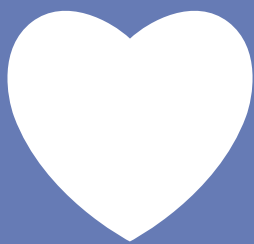
PICK UP

株主優待制度

伊藤ハムでは、株主の皆様にご感謝の意を表すとともに、当社の製品をより身近に感じていただくことを目的として、毎年3月31日現在で1,000株以上ご所有の株主の皆様に対し、年1回(時期6月)、5,000円相当の当社製品を贈呈いたしました。



平成26年6月送付の当社製品贈呈例



社会貢献活動

伊藤ハムグループの社是のもと、良き企業市民として、地球環境への配慮と社会との共生を大切にして、社会貢献活動を持続的に推進します。

「食と健康」の分野で、世界の人々に役立つ活動を行います

食育活動理念

伊藤ハムグループは、健全な生活の基礎となる「食」の大切さや楽しさを伝え、今、求められている「家族揃っての食事」が、語らいや団らんを育むことを伝えてまいります。

コーポレートメッセージ

あふれる笑顔

お客様の「あふれる笑顔」を実現させるために、食育活動を推進してまいります



PICK UP

子どもたちの「食」への興味を高める さまざまな食育イベントを実施

子どもたちの「食」に対する興味・関心を高めるとともに、地域社会とのコミュニケーションを深めることを目的に、「ウインナーの飾り切り教室」や「手作りウインナー教室」をはじめ、数々の食育イベントを行っています。2013年度に参加した皆様からは次のようなご感想をいただきました。

ウインナーの飾り切り教室

ウインナーを使って、「ウサギ」や「ひまわり」などを作る飾り切りを楽しんでいただけます。お子様から大人の方まで、食べる喜びや大切さを知っていただきたいという思いから、全国各地で活動を続けています。



参加者の声

かわいい飾り切りを習うことができ、子どものお弁当作りが楽しみになりました。

手作りウインナー教室

親子で仲良くウインナーを作って試食し、工場でウインナーの製造工程を見学していただく「手作りウインナー教室」を開催し、ご家族で「食」の体験を楽しんでいただけます。



参加者の声

伊藤ハムの工場や製品のことがよく分かりました。これからは安心して、伊藤ハム製品を食べることができます。

豚肉のカッティング教室

豚肉のカッティングの実演と、親子で料理にチャレンジすることを通じて、命をいただくことの大切さや食べる楽しさ、お肉の効用や食事バランスなど、「食」について学んでいただけます。

お肉を切るのが初めてで、できてうれしかったです。



参加者の声

子どもの真剣な表情が印象的でした。食べ物に興味を持たせることができ、参加して良かったと思います。

地域社会の良き一員として 貢献し、信頼関係を築きます

“食とeco”わくわく探検隊

食べ物と環境のかかわり、自然環境と生命の大切さを伝えることを目的に実施しています。地球にやさしい炊事や、自然観察を行います。



エコロジークッキングの説明

エコロジークッキングに挑戦

ユニセフ活動および国内外の 被災地救済活動を支援します

タンザニアの子どもたちを栄養不良から守る ユニセフの活動を継続的に支援

伊藤ハムは、タンザニアの子どもたちを栄養不良から守るためのユニセフの活動をサポートする「タンザニア支援プロジェクト」を2008年から継続して実施しています。このプロジェクトは、当社対象商品の売り上げの一部を寄付することで、ユニセフがタンザニアで展開する栄養支援プログラムを援助するものです。

お客様のプロジェクトへのご賛同に加えて、グループ会社を含めた250カ所の事業所から従業員募金を集め、2013年度には1,102万6,800円をユニセフへ寄付し、2008年度から2013年度までの寄付総額は、9,605万5,019円となりました。これらは全額、ユニセフがタンザニア連合共和国ザンジバル島とペンバ島で展開する「タンザニア栄養支援プログラム」に充てられています。



森林や河川などの自然環境保護 活動を支援します

「こうべ森の学校」に活動資金を提供し、 従業員ボランティアが参加

神戸市は、2002年に緑化100周年を迎えた六甲山系において、これからの100年の森林保全と育成を目指した「六甲山これからの百年の森づくり」を進めています。その一環として、六甲山系の再度山（ふたたびさん）を拠点に、市民・行政・企業が協働して森林保全活動を行う「こうべ森の学校」を、伊藤ハムは支援しています。

2013年10月8日、伊藤ハムは神戸市と包括連携協定を結び、「こうべ森の学校」を引き続き10年間支援することを約束しました。当社は「こうべ森の学校」をこれからも継続して支援し、森林保護活動を積極的に実施します。皆様もぜひ活動にご参加ください。

http://kobe-mori.jp/morigaku_hp/

もしくは「こうべ森の学校」で検索!



「こうべ森の学校」

従業員の意思と責任に基づく ボランティア活動を支援します

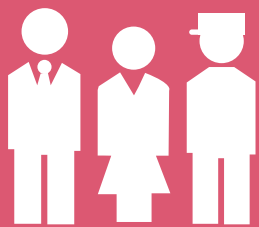
社員の声 ボランティア参加社員

「こうべ森の学校」に参加して、
大きなやりがいを感じています

2カ月に1回、「こうべ森の学校」に参加しています。森林の手入れの活動は、森づくりが着実に進んでいることが分かり、やりがいも大きいです。自然の大きさを体感しての活動は気持ちをリフレッシュする効果も! ご興味のある方はぜひ参加してください。

食肉事業本部
事業戦略部
吉田 貴光





従業員とともに

従業員は、会社の大切な財産です。教育制度の充実はもちろん安全衛生、健康管理に配慮し、ワーク・ライフ・バランス、ダイバーシティへの取り組みも行っています。何事にもチャレンジする活力ある職場、安全で安心して働ける職場環境の実現を目指します。

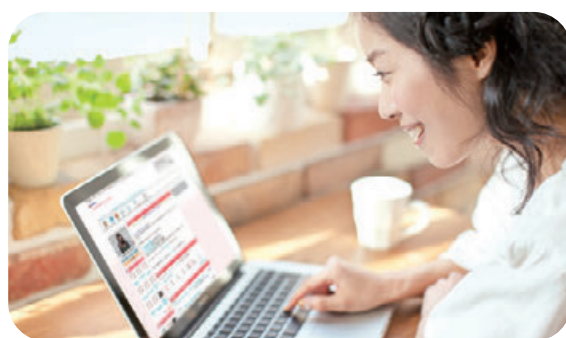
PICK UP ワーク・ライフ・バランス

数値目標・取り組み計画を策定し、 取り組みをスタート

伊藤ハムグループは、「企業の持続的な成長のために、すべての従業員が生きがいを感じながら、その能力を存分に発揮できる職場環境づくりが重要」と考え、ワーク・ライフ・バランスを推進しています。

2013年1月にグループ全従業員を対象に実施した意識調査の結果を受け、4月に「ワーク・ライフ・バランス推進プロジェクト」を立ち上げました。プロジェクトの推進組織として、各事業部門の管理部門責任者を中心とした「ワーク・ライフ・バランス推進委員会」を発足させるとともに、重点課題である「メリハリのある働き方への変革」「女性の活躍をサポート・促進する体制構築」を各検討テーマとする2つのワーキンググループを組織しました。これらのワーキンググループは、半年間にわたって意見交換を重ね、取り組み計画と数値目標を策定し、2013年秋、経営トップへ提言しました。

2014年度は、各地区・各社で任命したワーク・ライフ・バランス推進担当者が中心となり、「業務改善を通



ハママコミュニティ

した効率的な働き方の実現」「時間管理の適正化の啓蒙」「女性リーダー層の育成強化」「育児や介護との両立支援」といった取り組み計画の推進にあたっています。

仕事と、育児・介護との両立を支援

伊藤ハムグループは、「育児休業者職場復帰支援プログラム」「短時間勤務制度」「時差勤務制度」など、仕事と育児・介護との両立を支援する制度を整備するとともに、計画有休制度を導入し、有給休暇を取得しやすい環境づくりを進めています。

さらに、2013年から「第五次次世代育成支援行動計画」にもとづいた施策を展開しています。育児休業の取得については、「女性従業員の取得率90%以上、男性従業員は年間の取得者5名以上」を目標とし、社内ポータルサイトでの情報提供や「出産・育児ハンドブック」の配布により、育児休業制度の理解および利用促進に努めています。

加えて、従業員一人あたりの年間総実労働時間については「平均20時間削減」を目標としており、その実現に向けて、各部署で有給休暇の取得促進や残業削減に取り組んでいます。



次世代認定マーク
「くるみん」

社員の声 両立支援制度利用者

上司や同僚の理解や支援が悩んだ時の支えになりました

2度の育児休業を経て、短時間勤務で働いています。効率よく時間を使うよう心がけていますが、時には仕事や育児のことで悩むことも…。そんな時は上司や同僚に相談し、問題を解決しています。今後、職場で制度を利用する仲間がいれば、今度は私が相談相手になってサポートしたいです。



加工食品事業本部 事業戦略統括部
家庭用企画部 第3マーケティング室

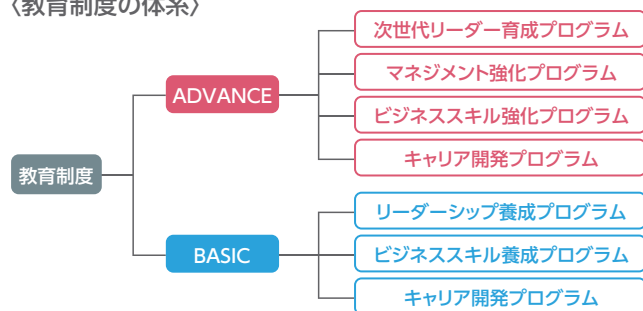
弥富 紀子

教育制度の充実

一人ひとりの成長と組織の発展のために、2つの教育コースを用意

伊藤ハムグループは、従業員それぞれの成長と組織の発展を実現するために、全従業員を対象とし、ビジネスに必要な基本的なスキルの習得とキャリア開発を目的とした「BASICコース」と、人や組織のマネジメントに求められるスキルの習得・強化を目的とした「ADVANCEコース」の、2つの教育コースを用意しています。高い成長意欲を持つ従業員に対して積極的に学習の場を提供するため、教育研修の多くは応募型を採用しています。

〈教育制度の体系〉



ジョブチャレンジ制度の導入などで、人材の活躍の場を拡大

従業員が目標やキャリアビジョンを立てて上司と面談するキャリア面談や、同一部署での長期滞留による弊害を排除すべくジョブローテーションを実施しています。また、「社内フリーエージェント」「社内公募」などのジョブチャレンジ制度を導入・強化しています。

2013年度には、「社内フリーエージェント」に4名、「社内公募」4案件に合計10名の応募がありました。

新入社員・若手社員を重点的に育成する、メンター制度

伊藤ハムは、新入社員・若手社員の能力を迅速に向上させ、早期かつ着実に即戦力へと育てるために、メンター制度を2012年から導入しています。この制度では、新入社員1名に対して1名以上のメンターを任命。メンターは新入社員を計画的・重点的・継続的に育成・指導します。

2014年度には、かつてメンター制度によって育てられた従業員がメンターに任命される事例が出るなど、この制度による人材育成のサイクルは、本格的に回り始めた段階です。今後もこのような制度の運用によって、伊藤ハムグループの継続的な発展に寄与するような、人材育成の揺るぎない基盤を築いていきます。

社員の声 教育担当者

メンター制度3期目にあたり、
上司は職場全体で新入社員を育成するため、
「上司カード」を携帯し、育成支援に取り組んでいます！

メンター制度は、「制度が無くなっても、各職場がメンバー全員で効果的に新入社員を育成できる状態になること」を目指しています。

人が育つ職場をつくるには、なんといっても上司の役割発揮が鍵になります。そこで3期目にあたり、上司の役割を具体的に示した名刺サイズの「上司カード」をつくりました。上司は役割認識を深くして、育成支援に取り組んでいます。

管理本部人事総務部人材開発室

位田 明子



労働安全衛生

労働安全方針

伊藤ハムグループは、すべての人が安全に安心して働ける職場環境を実現するため、労働安全衛生管理に取り組んでいます。

安全衛生教育

新入社員の入社時集合研修では、安全に仕事をするための基本を身につけるために、「安全衛生の基本」の講義を行っています。

また、生産工場などでは、作業手順教育や労働災害同種

災害防止教育など、安全衛生教育を繰り返し実施し、安全行動の撲滅、従業員の安全衛生意識向上に努めています。

安全衛生監査

「労働安全衛生関係法令、社内ルールの遵守徹底」と、「労働災害や職業性疾病の発生防止」を目的として、CSR本部が年度の安全衛生監査計画に基づき、主要事業場の監査を実施し、遵法の指導と危険要因の改善に取り組んでいます。

健康管理

健康情報

伊藤ハム健康保険組合では、人間ドック、がん検診の受診費用補助や禁煙サポート、ウォーキングイベントなどの疾病予防や体育奨励事業を推進するとともに、広報誌「きらり」やホームページを活用して、従業員とその家族に向けて健康情報を発信しています。

メンタルヘルス

伊藤ハムグループ「心の健康づくり計画」に基づき、グループ内の推進体制の構築や「医療法人あけぼの会メンタルヘルスセンター」との提携によるEAP(従業員とその家族を対象とした従業員支援プログラム)の導入を進めています。

また、不調者への対応だけでなく、職場のコミュニケーションの活



メンタルヘルスのポスター

性化や生産性の向上など、不調者を出さない職場づくりにも取り組んでいます。

メンタルヘルスセンターの声

「働きがい」のある職場環境づくりのために

「リスクマネジメント」「ハラスメント対策」をテーマとした管理者向け講習の実施や、メンタルヘルス関連情報の発信を通じて、伊藤ハムのメンタルヘルス推進をサポートしています。これからは、メンタルヘルスの悪化を未然に防ぐ「一次予防」にも積極的に取り組んで、従業員の方がいっそう大きな「働きがい」をもって働けるような職場づくりに貢献していきたいです。

医療法人あけぼの会
メンタルヘルスセンター
こむれ 小牟禮 尚子

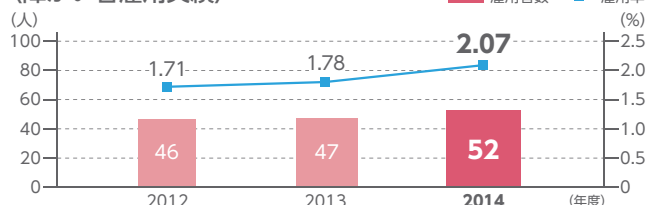


ダイバーシティの尊重

適用業務の拡大などによって、障がい者雇用率を向上

伊藤ハムの障がい者雇用率は2014年6月現在、2.07%です。1993年に当時の法定雇用率(1.6%)を上回って以来、雇用率を維持し、「兵庫県障害者雇用促進協会会長賞」「兵庫県知事賞」「日本障害者雇用促進協会会長賞」を受賞しました。近年は、就労支援センターや支援学校、職業安定所などのご協力のもと、職場見学会を開催し、求職者を確保するとともに、適応業務の拡大を図ることで、雇用率の向上を果たしました。併せて、障がい者が安心して働ける職場づくりを進め、支援ワーカーやジョブコーチと連携して、障がい者の職場への定着を図っています。

〈障がい者雇用実績〉



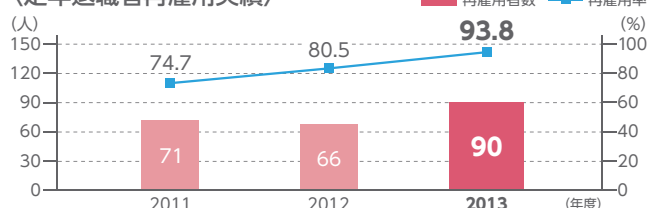
定年退職者の9割を超える人材を再雇用

定年退職後も働く意志を持つ従業員を対象に、定年を迎える1年前に本人の意志を確認して、最長65歳まで再雇用を

継続しています。再雇用期間は1年ごとの契約とし、継続就業の意志確認を毎年行っています。勤務形態は従業員の希望をできるだけ汲み取り、勤務時間など柔軟に対応しています。

2013年度は、伊藤ハムで定年退職者の約93.8%にあたる90名(グループ全体では定年退職者の約92.3%にあたる175名)を再雇用しました。

〈定年退職者再雇用実績〉



非正社員の中から優秀な人材を選び、正社員へ登用

伊藤ハムグループは、非正社員の戦力化とモチベーションの維持・向上を図るべく、パートタイム労働法の改正に合わせて、2009年度から、一定の評価基準を満たし、所属部門の推薦を受けた非正社員を正社員として登用・処遇する「正社員登用制度」を運用しています。さらに、非正社員に期待される役割に応じて、時間給のパートナー社員を月給のエリア社員へ登用する制度を運用しています。



ガバナンス

企業としての社会的責任を十分に果たし、ステークホルダーの皆様からの信頼を得るために、内部統制機能を充実させた経営組織体制を整備し、的確な経営の意思決定とスピーディーな業務執行を行っております。コンプライアンス意識を向上させる研修・教育の徹底と、積極的な情報開示を通して経営の透明性を高め、総合的なコーポレートガバナンスの充実に努めてまいります。

企業倫理規範(コンプライアンスの原則)

健全で誠実な企業経営を行う上で守るべき考え方を「企業倫理規範(コンプライアンスの原則)」として策定しています。

1. 公正な活動

伊藤ハムグループは、会社が社会の公器であるとの自覚と責任のもと、常に社会的良識に沿って公正に行動します。

2. 倫理観と遵法の精神

伊藤ハムグループは、常に遵法を心がけ、確固たる倫理観をもって誠実に事業活動を行います。

3. 関係法令の社内徹底

伊藤ハムグループは、事業活動に必要な関係法令の収集とその理解に努め、その遵守を確実にするため、社内規程の制定と教育・アナウンスなどを通じて社内徹底を図ります。

4. 法令違反の早期是正と厳正対処

伊藤ハムグループは、業務遂行活動が関係法令や社会的良識に反する場合は、速やかにその違反状態を是正し、再発防止に努めるとともに、違反行為に対して厳正に対処します。

組織体制

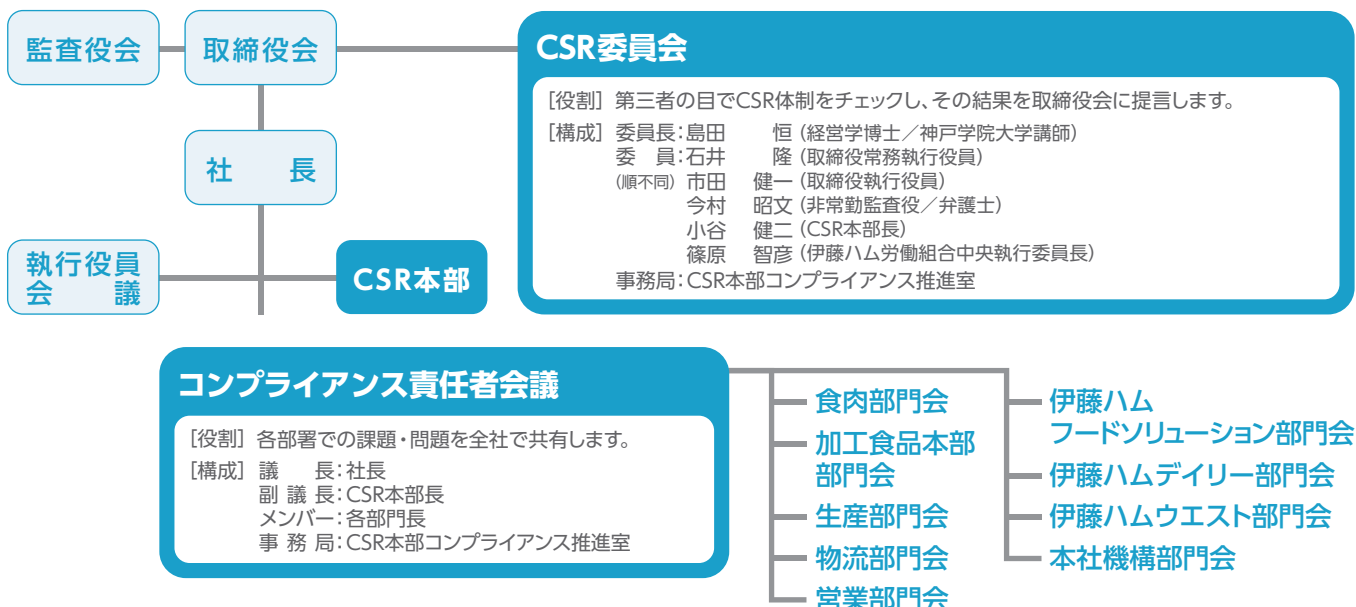
伊藤ハムグループでは、社外有識者を含む諮問機関である「CSR委員」と、社長を議長として各事業部門の長をメンバーとする「コンプライアンス責任者会議」を頂点とするコンプライアンス推進体制を敷いております。更に、各事業部門にも「コンプライアンス責任者会議(部門会)」を設置、グループ全体で方針を推し進める継続的な活動・取り組みを行っています。

こうした活動・取り組みの中核としてCSR本部があります。CSR本部の目的は、伊藤ハムグループの役員をはじめ全従業員のコンプライアンスへの意識を向上させ、実践の

企業風土を十分に浸透させるとともに、モニタリングの体制を強化・拡充することです。上記会議体の運営母体となる他、内部監査、研修・教育を担当し、各部門・グループ各社とも連携してコンプライアンスを推進しています。

また、CSR本部長は、社長を代行してコンプライアンス違反行為への是正を命ずる権限を持つとともに、モニタリング活動を通じて「問題点を早期に発見し、社長・取締役会に報告すること」、「現場への改善を指示をすること」、「是正プロセスと結果を確認し、社長・取締役会に報告すること」について責任を負っています。

〈CSR推進組織図〉



コンプライアンス

PICK UP

職場に根づいたコンプライアンス活動を推進

各事業部門から、伊藤ハムグループの次代を担う人材を選し、「コンプライアンス全体会」で283名のコンプライアンス委員を任命しています(2014年4月現在)。コンプライアンス委員は職場長の補佐をしながら、担当職域でのコンプライアンスの周知活動、職場での相談受付や、法令遵守・企業倫理の遵守のモニタリングを行っています。また、全国主要15カ所で、年に3回定期ミーティングを行い、委員のスキルアップと委員同士の情報交換を行っています。



社員の声 コンプライアンス委員スタッフ

コンプライアンスの醸成を目指して委員を全力で支援していきます

コンプライアンス委員の任期は2年です。2013年度末には活動の成果と課題を報告して、約200名の委員が卒業しました。委員制度の発足から5年経ちましたが、コンプライアンスに“完成”はありません。委員が上司から支援を得やすい環境を整備するなど、今後も委員を全力で支援していきます。

CSR本部
コンプライアンス推進室

佐藤 雅美 (左)

坂田 健 (右)



コンプライアンスに関するルールを明確化し、 規程を整備しています

コンプライアンスに関するルールを明確化し、従業員への周知を図るために、「コンプライアンス推進規程」をはじめとする規程を整備しています。

コンプライアンス推進規程	コンプライアンスの実践やコンプライアンス推進体制などについて定めています。
社内通報規程	社内相談窓口の対応手順や通報・相談者の保護などについて定めています。
内部者取引管理規程	証券取引および関連法規に違反する内部者取引を未然に防止するために、役職員の職務に関して取得した未公表の内部情報(重要事実と同義)の管理、役職員の株式等の売買その他の取引および役職員の職務に際して遵守すべき基本的事項を定めています。
個人情報取扱規程	個人情報の取得、保管、利用、廃棄のプロセスを定めています。

公正な取引

下請法をはじめ、法令遵守を徹底

業務、取引に関連する従業員には、各事業部門の特性に合わせて構成された研修を受講させることで、法令遵守を徹底しています。

リスクマネジメント

リーガルリスクマネジメント、BCPを推進

事業部門ごとに法令リスクを洗い出し、モニタリング活動を行うリーガルリスクマネジメントをグループ全体で年1回実施しています。自然災害を想定したBCPを策定しており、2013年度には「首都圏直下型災害対応実施訓練」を行いました。

情報セキュリティ

ビデオ講習などを通じて、情報セキュリティを強化

従業員がITを利用する際のルールを「伊藤ハムグループIT利用規則」として定めるとともに、2012年度から「伊藤ハムグループソーシャルメディアの利用に関するガイドライン」を策定し、運用しています。

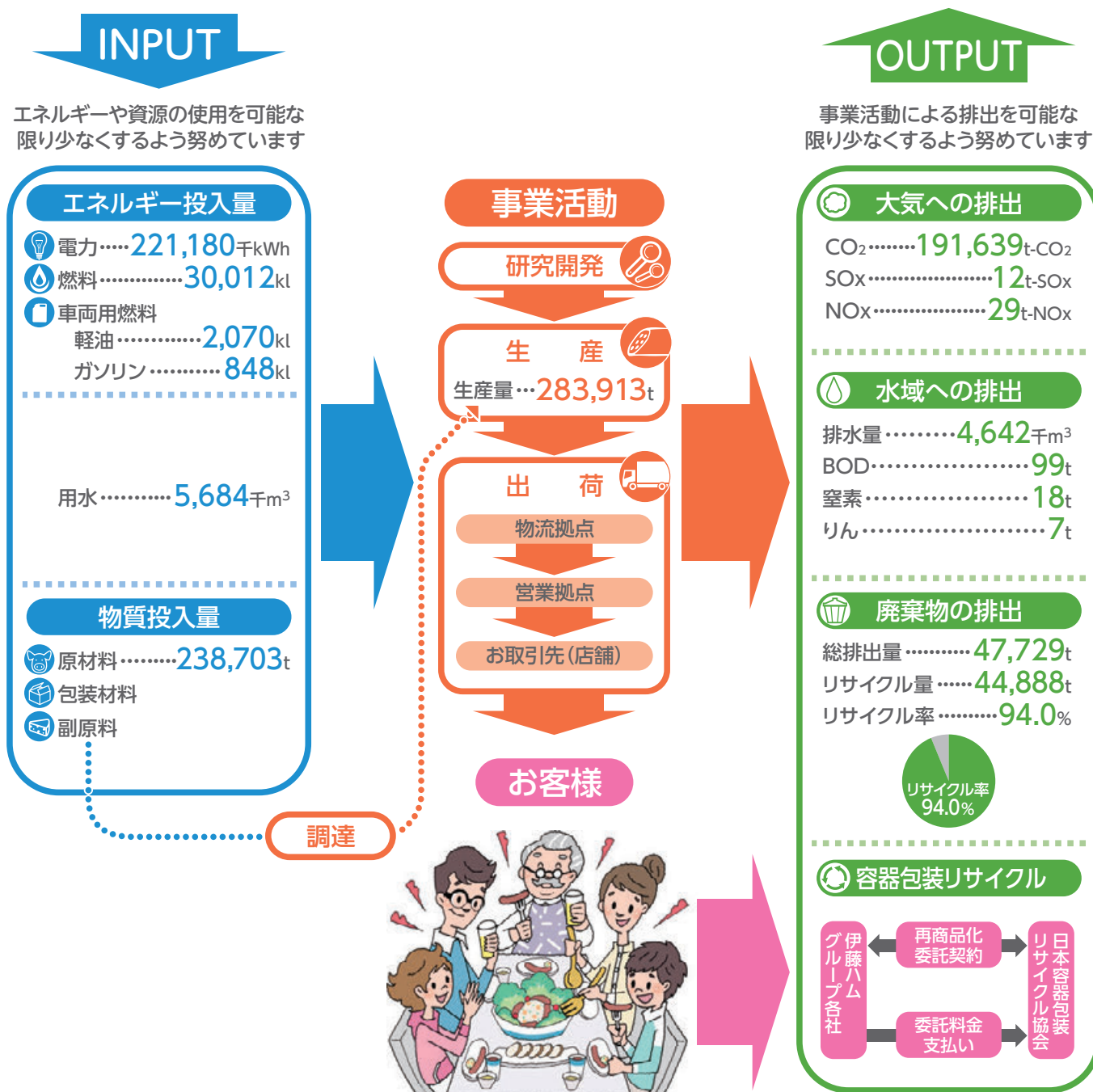
さらに、責任者クラス、関連部署の従業員を対象とした情報セキュリティ教育にビデオ講習を取り入れるなど、情報セキュリティの維持・強化に努めています。

環境保全活動

基本理念

私たちは地球規模の環境保全が、人類共通の最重要課題の一つであることを認識し、事業活動を通じて環境に配慮し、その保全と社会との共生を図る努力を持続的に実践してまいります。

環境負荷の全体像 (対象期間：2013年4月1日～2014年3月31日)



対象範囲

■伊藤ハム(株) 神戸、六甲、西宮、豊橋、東京、取手各工場、本社事務所、東京事務所、名古屋事務所、中央研究所 ■伊藤ハムデイリー(株) 東北、小樽、北陸各工場、営業部門 ■伊藤ハムウエスト(株) 九州工場、営業部門 ■浅草ハム(株) 関東工場 ■ハーバーデリカテッセン(株) 四日市工場 ■筑紫ファクトリー(株) 北九州工場 ■ロイヤルデリカ(株) 本社工場、岡山工場 ■(株) 菊水本社工場、サッポロファクトリー ■サンキョーミート(株) 有明ミート工場、霧島ミート工場 ■IHミートパッカー(株) 名古屋、東京、宮城、十和田各ミートセンター ■IHミートソリューション(株) 九州、神戸、川崎、仙台、札幌各パックセンター ■沖縄フレッシュパック(株) ■(株) 藤栄 ■伊藤ハム販売(株) ■伊藤ハムフードソリューション(株) ■伊藤ハムミート販売東(株) ■伊藤ハムミート販売西(株) ■アイエイチロジスティクスサービス(株)

環境目標

第5次中期環境目標の取り組み結果と自己評価

2013年度は、冷凍機の更新、蒸気コンプレッサー集中制御装置の導入、夏期に工場屋根への散水等を実施し、次の通りの結果となりました。

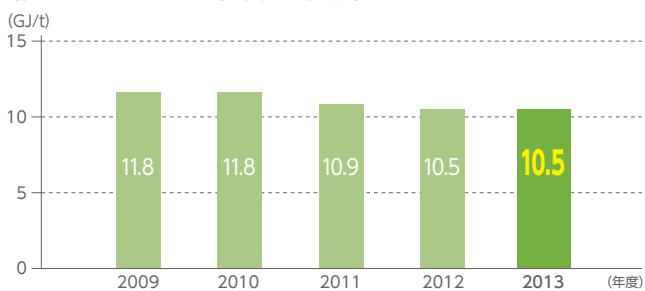
1. 省エネルギー、省資源の推進

・総エネルギー生産原単位は
0.8%削減しました。

自己評価



〈総エネルギー生産原単位の推移〉

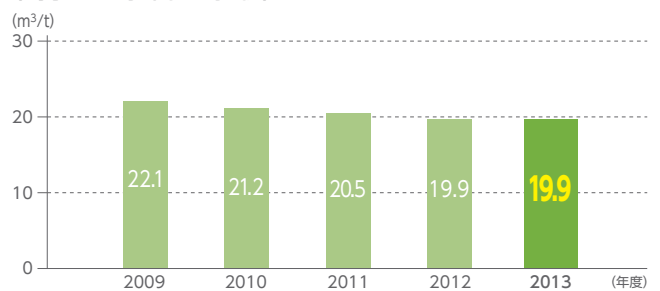


・用水生産原単位は**0.1%増加**しました。

自己評価



〈用水生産原単位の推移〉



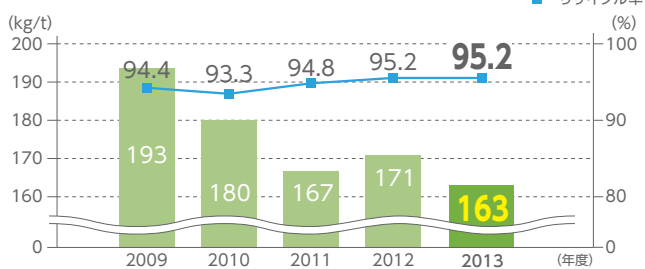
2. 廃棄物の削減とリサイクルの推進

・廃棄物生産原単位は**4.2%削減**。
・リサイクル率は増減ありませんでした。

自己評価



〈廃棄物生産原単位とリサイクル率の推移〉



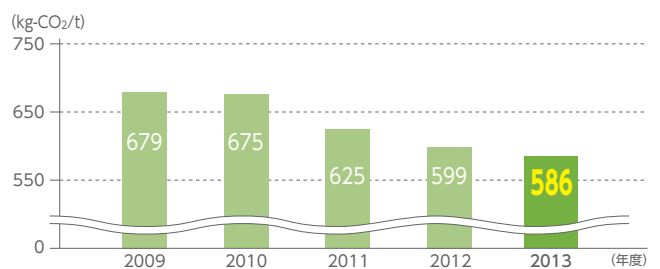
3. 温室効果ガスの排出削減

・二酸化炭素 (CO₂) 生産原単位は
2.2%削減しました。

自己評価



〈二酸化炭素 (CO₂) の生産原単位の推移〉



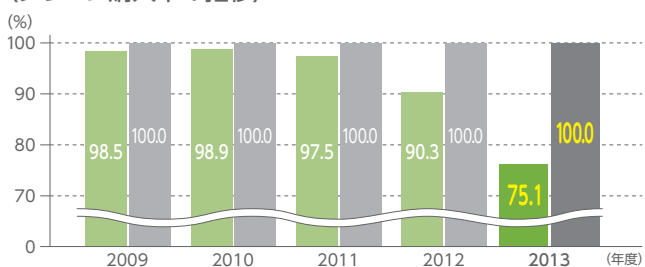
4. グリーン購入の推進

・事務用品のグリーン購入率は
15.2ポイント下がりました。
・事務機器は**100%**を維持しました。

自己評価



〈グリーン購入率の推移〉



〈自己評価〉



2013年度の実績が目標値の100%以上に改善。



2013年度の実績が基準年度(2012年度)比でほぼ横ばい。継続して取り組みを進めます。



2013年度の実績が基準年度(2012年度)を下回りました。継続して、より一層取り組みを進めます。

対象範囲1、2、3

■伊藤ハム(株)神戸、六甲、西宮、豊橋、東京、取手各工場 ■伊藤ハムデリー(株)東北、小樽、北陸各工場 ■伊藤ハムウエスト(株)九州工場 ■浅草ハム(株)関東工場 ■ハーバーデリカテッセン(株)四日市工場 ■筑紫ファクトリー(株)北九州工場 ■ロイヤルデリカ(株)本社工場、岡山工場 ■(株)菊水本社工場、サッポロファクトリー ■サンキョーミート(株)有明ミート工場、霧島ミート工場 ■IHミートパッカー(株)名古屋、東京、宮城、十和田各ミートセンター ■IHミートソリューション(株)九州、神戸、川崎、仙台、札幌各パックセンター ■沖縄フレッシュパック(株) ■(株)藤栄

対象範囲4

■伊藤ハム(株)本社事務所、東京事務所、神戸、六甲、西宮、豊橋、東京、取手各工場 ■伊藤ハムデリー(株)東北、小樽、北陸各工場 ■伊藤ハムウエスト(株)九州工場 ■浅草ハム(株)関東工場 ■ハーバーデリカテッセン(株)四日市工場 ■筑紫ファクトリー(株)北九州工場

環境マネジメント

環境保全活動の効果を高めるために、 環境マネジメントシステムを構築・運用しています

伊藤ハムグループは、環境保全活動の効果を高め、持続可能な社会の構築に貢献していくために、環境マネジメントシステムを構築し運用しています。

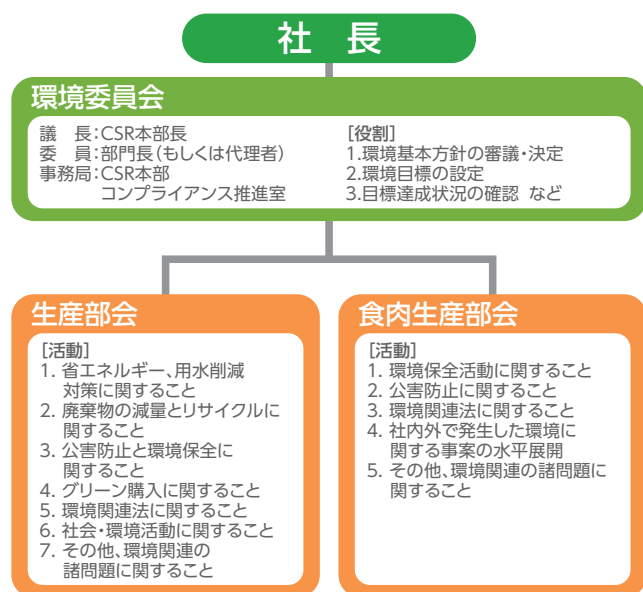
主要な生産工場では、環境マネジメントシステムの国際規格であるISO14001の認証を取得し、環境保全活動を推進しています。

環境課題へ迅速かつ円滑に対応するために、 環境管理体制を構築しています

環境マネジメントを推進し、省エネルギーや省資源、廃棄物の資源リサイクルなど、環境保全に関わるさまざまな課題に対して迅速かつ円滑に対応するために、環境管理体制を構築しています。

また、環境基本方針や目標設定などの全社的な事項は「環境委員会」で審議・決定しています。

〈環境マネジメント組織体制〉



活動のさらなるレベルアップを図るために 環境監査を実施し、法令遵守を行っています

事業所内で実施する内部環境監査はもちろん、環境汚染や環境事故を防止し、環境保全活動のさらなるレベルアップを図るために、CSR本部監査室が、年度の計画に基づいて主要事業所の監査を実施しています。

2013年度は、合計82事業所の監査を実施しました。

また、事業所ごとにも環境監査を実施しています。

環境関連法や、環境保全協定などで定められた規制値を守るとともに、指摘事項には迅速に対処し是正を図ることで、法令の遵守を徹底しています。

〈環境関連法一覧〉

- ▶ 大気汚染防止法
- ▶ 水質汚濁防止法
- ▶ 特定工場における公害防止組織の整備に関する法律
- ▶ 廃棄物の処理及び清掃に関する法律 (廃棄物処理法)
- ▶ 食品循環資源の再生利用等の促進に関する法律 (食品リサイクル法)
- ▶ 資源の有効な利用の促進に関する法律 (リサイクル法)
- ▶ 容器包装に係る分別収集及び再商品化の促進等に関する法律 (容器包装リサイクル法)
- ▶ エネルギーの使用の合理化等に関する法律 (省エネルギー法)
- ▶ 地球温暖化対策の推進に関する法律 (地球温暖化対策推進法)
- ▶ 自治体との環境保全協定 など

環境管理に関するお問い合わせに迅速 かつ誠実な対応を心がけるとともに、 環境事故には迅速に対応しています

環境管理に関するお問い合わせに対して、その都度、迅速かつ誠実な対応を心がけています。

対応策実施後はその効果を確認し、お問い合わせをいただいた方に報告し、ご了解をいただいています。

〈お問い合わせ内容と対応策の事例 (2013年度)〉

内 容		対応策
騒音	工場からモーター音のような騒音が聞こえる。	吸気ファンのベルト付近から騒音が発生していることが判明。応急措置としてベルト部へオイルを差し、後日ベルトを交換しました。
		クーリングタワーのモーター部分から発生していることが判明。モーター部分に防音壁を設置しました。
臭気	工場の浄化槽付近から臭いがする。	臭気の発生源を特定することはできませんでしたが、浄化槽は法定検査を受けており、適正運転していることを説明しました。
	工場の廃水処理設備から臭いがする。	廃水処理設備において、設備への送気量を適正量に調整し、臭気の漏洩はなくなりました。
排水	工場から放流されている水が、いつもより汚れている。排水の汚濁度を測定しているのか教えてほしい。	定期的に排水の汚濁度を測定していることを説明しました。また、ご指摘いただいた日時に配管の洗浄を行い、配管洗浄箇所が放流口に近い場所であったことから、操作ミス等の原因で一時的に排水が汚れた可能性があることを説明しました。

また、2013年度は2件の環境事故が発生しましたが、迅速に対応し敷地外への漏洩はありませんでした。詳細版で内容を報告しています。

従業員教育・地域とのコミュニケーション

従業員教育を実施して環境保全意識の向上を図るとともに地域との交流を深めています

従業員一人ひとりの環境保全意識を高め、継続的に環境保全に取り組む企業風土を醸成するために、環境教育や意識啓発活動を実施しています。

また、このような取り組みの一環として、従業員がボランティア活動を通じて、環境保全の大切さを学ぶ「環境ボランティア体験学習」を実施しています。また、「食と環境の出前授業」を実施し、地域の皆様との交流を深めています。



食と環境の出前授業
(京都府長岡京市立長法寺小学校)



食と環境の出前授業
(近鉄百貨店上本町店)

「環境ボランティア体験学習」を通して生物多様性保全への取り組みを推進しています

●ビーチクリーンアップ活動

野生動物がえさと間違えてプラスチックごみやタバコのフィルターなどを誤食しないことを願って、事業所周辺や海岸のクリーンアップ活動を実施しています。甲子園浜(兵庫県西宮市)では、海を漂い、海鳥や魚類への悪影響が懸念されるレジンペレット※の回収を実施しました。



ビーチクリーンアップ活動(甲子園浜)

※ プラスチック製品の中間材料。事業場からの漏れ出し、船からの荷こぼれ、不法投棄などで河川や湖沼、海洋に流出すると、長い年月にわたり分解されず、環境問題になっている。また漂流物を鳥や魚が誤食することで、生体に何らかの影響が生じる可能性が懸念されている。

●森林保護活動

「こうべ森の学校」、「高尾の森づくりの会」に参加し、間伐作業や植樹などの森林保護活動を行っています。

環境負荷低減の取り組み(生産事業所)

より効率の良い機器への更新などで省エネを図り、二酸化炭素排出量を削減しています

- 効率の良い冷凍機に更新しました。
- 熱回収式コンプレッサーを導入し、廃熱をボイラー軟水の予熱源として有効利用しました。
- 蒸気コンプレッサー集中制御装置を導入しました。
- 夏期、工場屋根や空調室外機に散水／断熱効果の高い塗料で工場屋根を塗装／ルーフシェード(日よけシート)の設置などによって、設備全体の温度を下げ、冷房の負荷を低減しました。
- 高効率照明器具への更新を進めました。
- 給排気ファンにインバーターを設置しました。
- 空調機を高効率タイプに更新しました。



高効率冷凍機
(伊藤ハムデリー(株)東北工場)



蒸気コンプレッサー集中制御装置
(伊藤ハムウエスト(株)九州工場)

冷却水、蒸気ドレン水の再利用、ミートワゴン洗浄機を導入し用水使用量を削減しています

- 冷却水を再利用しました。
- 蒸気ドレン水を回収して、ボイラー用水に再利用しました。
- ミートワゴン洗浄機を導入しました。

廃棄物の発生抑制、減容を推進するとともに、リサイクル率を高めています

- 原料肉の包装で使用されていたポリシートを廃棄する際に、水切りを実施しました。
- 排水に流していた脂分の除去に努め、廃水処理設備の負荷を低減し、汚泥を削減しました。
- 廃ポリシートをマテリアルリサイクルしました。



ルーフシェードを設置し、遮熱塗装した
工場屋根(豊橋工場)



ミートワゴン洗浄機(西宮工場)

環境負荷低減の取り組み(事務所・営業所・物流センター)

クールビズ、ウォームビズを実施、 輸送効率の向上などにより、 電力・燃料使用量の削減に努めています

- クールビズ、ウォームビズを実施、夏場は室温が28℃、冬場は20℃となるように空調機の温度設定を調整し、節電に取り組みました。
- LED照明への切り替えを進めました。
- 積み合わせ輸送・混送便の利用、輸送量に応じた適正車種の選択、輸送ルートの見直しなどで、輸送効率を向上させました。
- 保有車両の低公害車(低燃費、低排出ガス自動車、アイドリングストップ機能搭載車、ハイブリッド車など)への転換、台数の低減に努めました。

- 車両へのエコドライブステッカーの貼り付け、「エコドライブ推進月間」である11月にポスターを掲示するなどにより、従業員の意識を啓発し、エコドライブを促進しました。



「エコドライブ推進月間」ポスター



クールビズポスター

PICK UP

環境活動に 関する外部表彰

サンキョーミート(株)有明ミート工場が、 エネルギー管理優良工場として 「九州経済産業局長賞」受賞

2014年2月、サンキョーミート(株)の有明ミート工場は、省エネの推進に貢献したエネルギー管理優良工場として「九州経済産業局長賞」を受賞し、表彰されました。

同賞は、九州経済産業局、省エネルギーセンター九州支部、九州地方電力利用効率化協議会が、エネルギー管理の改善に努め、エネルギー利用技術の向上を通じて省エネに寄与した工場等を表彰するものです。

有明ミート工場は、省エネを目指して「屋根散水」、「高効率照明器具の交換」、「蒸気配管の系統分け」などに取り組んでおり、これらによってエネルギー使用量を年々削減しています。このような取り組みと成果が今回の受賞へとつながりました。



「九州経済産業局長賞」



サンキョーミート(株)有明ミート工場

サンキョーミート(株)社長の声

環境活動は、従業員一人ひとりの意識・行動が重要であり、日頃の積み重ねが最終的に結果として現れます。会社と従業員が知恵を出し合い、些細なことでも前向きに取り組む姿勢が、地球環境保護へつながると思います。今回の受賞を励みに、より積極的に環境・エコ活動を推進するとともに、自然エネルギー(水・風力・太陽光)も活用しながら、自然と共生共栄できる会社を目指していきます。

サンキョーミート株式会社
代表取締役社長
楠本 幸二



CSRサイトのご案内

「環境保全活動をはじめ、CSR活動について社内外へ情報発信することは企業の果たすべき責任である」という認識のもと、積極的に情報を開示しています。

2000年から毎年、報告書を発行して CSR活動に関する情報を開示しています

環境保全活動をはじめ、伊藤ハムグループのCSR活動をご理解いただくために、2000年から毎年、CSR報告書を発行※しています。環境負荷の低減を考慮して2012年に冊子を廃止し、ホームページで情報を開示しています。

また、「伊藤ハムグループ2014年CSR報告書」のホームページに専用フォームを設け、CSR報告書に関するご意見、ご感想などを投稿いただけますようにしています。

※2000年はエコレポート、2001年～2004年は環境報告書、2005年～2007年は社会・環境報告書、2008年よりCSR報告書として発行



「伊藤ハムグループ2014年CSR報告書」のホームページ



社会活動、環境保全活動などについてのお問い合わせ先

伊藤ハム株式会社
CSR本部コンプライアンス推進室
〒663-8586 兵庫県西宮市高畑町4番27号
T E L : (0798) 65-5286
F A X : (0798) 66-3391
U R L : <http://www.itoham.co.jp>
E-mail : eco@itoham.co.jp
発行 2014年9月

次回発行予定 2015年9月